

仙南地域における、宮城県各公所の取り組みを紹介します。

SENNAN THE KING ザ キング

令和4年度第1号(通算第48号)

令和4年7月15日発行

大河原管内 合同広報誌
発行:宮城県大河原地方振興事務所

仙南地域のシンボルである蔵王は、地域にとって、言わば『王様』です。大河原地方振興事務所では、蔵王を仙南地域共有の大切な財産とし、地域の皆さまとともに、地域振興を進めていきます。

The・KING ~ 今号の注目記事 ~

宮城県上工下水一体官民連携運営事業 (みやぎ型管理運営方式) 事業開始式が開催されました



水道事業は、人口減少社会の進展による給水収益の減少や、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、今後一層厳しい経営環境を迎えることが予想されており、宮城県では、将来にわたり安全で安心な水道水の安定供給を継続できるよう「みやぎ型管理運営方式」を令和4年4月1日から導入し、その事業開始式が4月12日に南部山浄水場で開催されました。式典には村井嘉浩宮城県知事をはじめ、関係府省(内閣府、厚生労働省、経済産業省、国土交通省)の担当課長、SPC(特別目的会社)構成企業、県議会議員に御来賓をいただきました。

「みやぎ型管理運営方式」では、上工下水一体化によるスケールメリットや事業者の創意工夫、施設の運転経費や薬品等の調達及び設備等の更新工事費など、トータルコストを削減し、20年間で300億円以上のコスト削減が見込まれております。

【仙南・仙塩広域水道事務所】



南部山浄水場



セツケ宿ダム

くらし・環境

自動車税種別割の納期内（5月31日）
納税推進キャンペーンを実施

宮城県では県税収入の約11%を占める自動車税種別割の納期内納付率向上を図るため、毎年5月に「自動車税種別割納期内納税推進キャンペーン」を実施しています。

大河原県税事務所においては、管内の主要企業と公共施設等に対して納期内納税PR用ポスターの掲示をお願いしました。また、合同庁舎内に納期内納税を呼びかける横断幕を設置し、来庁者の皆様へPRを行いました。



納期内納税を呼びかける横断幕



大河原県税事務所入り口に設置されたのぼり

今年度、自動車税種別割は県全体で約94万台、約337億円が課税されており、この内、大河原管内においては約6万1千台、約22億3千万円を課税しました。納めていただいた自動車税種別割は復興事業をはじめとする県事業の貴重な自主財源となります。

県税の納期内納税の推進につきましては今年度も多くの皆様からご協力を賜りお礼申し上げます。今後とも納期内納税よろしくお願いいたします。

【大河原県税事務所】

防災・安全

宮城県の権限代行
角田市道「枝野橋」の災害復旧事業

阿武隈川に架かる角田市道「枝野橋」は、今年3月16日に発生した福島県沖地震により、橋脚のひび割れ、コンクリートの剥離や鉄筋のはらみ出し等の甚大な被害が発生し、翌日17日から全面通行止めとなっております。

この橋は、角田市の防災上重要な道路であり、下流側にある主要地方道角田山元線「角田橋」の迂回路や通学路としての利用もあることから、早期の通行規制解除が求められておりました。

本路線の県管理道路との連続性や代替性、施工に高度な技術力を要すること等もあり、角田市からの要請を受け、県の



応急復旧工事 角田市道「枝野橋」

権限代行による初めての市町村道災害復旧事業として、応急復旧工事に着手し、通行の安全性が確保されたことから、6月30日に通行止めを解除しました。残りの本復旧工事については、今年11月から再開します。

【大河原土木事務所】



P9橋脚【復旧前】



P9橋脚【復旧後】巻立コンクリート完了

応急復旧工事の完了状況

蔵王エコーラインが開通しました

仙南地域を代表する観光資源である「蔵王エコーライン」（主要地方道白石上山線）は、令和3年11月5日より、みやぎ蔵王すみかわスノーパーク入口から山形県境までの区間で冬期通行止めをしていましたが、去る令和4年4月23日に開通しました。

当日の開通式典は、強風に加え濃い霧に包まれ視界が悪い中、例年より規模を縮小し、屋内で神事を行い開通と蔵王連峰の山開きを宣言し、駐車場でテープカットとくす玉開きを行いました。



蔵王の御釜



除雪車によって雪を掘り下げ徐々に雪の壁が造られます

今年は降雪量が多く、名物である道路脇の雪の壁は、例年より高く最大10.6m程になっておりました。これからは夏山シーズンとなり、快晴時にはお釜をはじめとした蔵王連峰に加え、遠くは朝日連峰の絶景も楽しむことができます。

【大河原土木事務所】

ナゾ解きスタンプラリー

「県南ご当地キャラクターを探せ!2022」

県南エリア9市町を舞台に、「ナゾ」を解いてキャラクターが隠れている場所を巡るナゾ解きスタンプラリーを実施します。今年度は、県制150周年を記念し、「ナゾ」に県南の歴史に関わる問題が含まれています。キーワードとスタンプを集めて応募すると、抽選で64名様に温泉宿泊券などの豪華賞品が当たります。

●開催期間／7月1日（金）～9月30日（金）

●応募用紙／県内の観光施設にて設置。もしくはHPからダウンロードできます。

●問合せ先／県大河原地方振興事務所 地方振興部 ☎0224(53)3182

【地方振興事務所 地方振興部】

ご当地キャラクターを探せ!ポスター



詳細はこちらから

丸森町
2つの答えが楽しめる場所です! 待ってるよ!

丸森町PR大使 しょご丸

丸森町の「ナゾ」

商工業
雇用

せんなん工場探検隊

～夏休みに親子で工場見学しよう！～

せんなん 工場探検隊

～夏休みに親子で工場見学しよう！～

仙南地域には、多様な「ものづくり」の製造拠点が集積しており、地域経済を支える重要な役割を担っている一方、人口減少や少子化等の社会的課題も背景として、ものづくり事業者の人材確保や技術継承等が課題となってきました。

そこで、本地域の若年層が幼少期からものづくりに対する興味関心を持ち、将来的に本地域内で優れたものづくり人材へと育っていく契機とするとともに、保護者に対しても本地域内のものづくり企業の認知度向上を図っていくため、小中学生の親子を対象として、仙南地域内のものづくり企業の工場見学、体験等を行う「せんなん工場探検隊」を開催しています。



詳細は
こちらから

※好評につき、申込は終了しております。

【地方振興事務所 地方振興部】

- 開催期間 令和4年7月26日(火)から8月23日(火)まで、計21回開催
- 参加企業
 - ・NECプラットフォームズ株式会社
 - ・ホームキ株式会社
 - ・宮城事業所・株式会社マトロ
 - ・株式会社アステム
 - ・株式会社コイワイ
 - ・宮城工場・プラスエンジニアリング株式会社
 - ・仙台事業所
 - ・株式会社五洋電子
 - ・仙台工場

1 NECプラットフォームズ株式会社

参加者には名前入りストラップをプレゼント!



企業向けの電話機や、スーパー・コンビニエンスストア等で使われているPOSシステム(レジ)を生産。白石から、国内はもちろんのこと世界100ヶ国以上に高品質な製品を提供しています。

- 【見学内容】 ●会社概要説明 ●生産工程紹介
●工場内見学 ●作業体験(電動ドライバー)

日時 8/2(火) 9:15~11:15
14:15~16:15

会場 白石市旭町6-1

定員 1回5組10名程度

- 注意事項
・参加される方は、上履きを必ず持参してください。
・工場内見学時の写真撮影はご遠慮願います。



NECプラットフォームズ株式会社 見学内容

白石高等技術専門学校

オープンキャンパス2022

白石高等技術専門学校オープンキャンパス2022を7月23日(土)及び8月20日(土)に開催します。

オープンキャンパスでは、訓練内容や学費、入試日程、修了後の就職状況などを説明する「全体説明」、各実習場を見学する「施設見学」、各科ごとに40分程度の実習が体験できる「体験実習」、学校生活や学費の減免等について相談できる「個別相談」等を実施します。



訓練科の特徴等について説明



体験実習



詳細は
こちらから

両日とも同じ内容になりますので、本校に興味がある方や入学を検討される方は、御都合のよい日に御参加ください。事前申し込みは不要です。
詳しくは本校のHPを御覧ください。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

【白石高等技術専門学校】

丸森町大内青葉地域が

県内初の指定棚田地域となりました

宮城県最南端に位置する丸森町大内青葉地域が、このたび、県内初の「指定棚田地域」の指定を受けました。当地域は、現在、健康食品として注目されている「えごま」栽培作業の援農ボランティア受入れや、地場産野菜の販売を行う地域イベント「青葉温泉カフェ」との連携など、地域活動を積極的に行っています。



えごまの収穫作業



棚田風景

今回の地域指定により、貴重な国民的財産である棚田を保全しながら、農産物の生産だけでなく、観光や都市農村交流等の取組を通じた交流人口の増加など、棚田を核とした一層の地域振興が期待されます。

【地方振興事務所 農業農村整備部】

令和3年春の果樹凍霜害を乗り越えて

昨年は春先に続いた低温の影響を受け、全国的にりんごやなし、さくらんぼなどの果樹で凍霜害による大きな被害が発生しました。

仙南地域でも特に蔵王町や角田市で生産される「なし」では大きな被害があり、出荷量は例年より少なくなりました。中には、果実が全く実らないほ場もありましたが、生産者は翌年（令和4年）の収穫に向け、この一年、懸命に栽培管理を行ってきました。

今年の春も低温による被害が心配されましたが、被害軽減対策に取り



一斉に開花するりんごの花



満開を迎えたなし園

組んだほか、昨年に比べると低温の日が少なかったことが幸いし、このまま順調に生育が進めば平年並みの出荷量が見込まれます。
生産者は、果実がまだ小さいうちに適切な量を木につけさせる摘果作業を行うなど、高品質の果実を収穫するため、適期作業に励んでいます。美味しい果実がたわわに実る「仙南の秋」にご期待ください。

【地方振興事務所 農業振興部】

丸森町全域でのたけのこ出荷再開について

令和4年4月25日に、耕野地区の放射性物質濃度測定所において、「たけのこ初出荷・出発式」が開催され、今シーズンから、悲願であった丸森町内全域でのたけのこの出荷が再開されました。

丸森町産のたけのこは、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、平成24年5月から町全域で出荷制限を指示されました。

その後、平成30年11月までに安全が認められた「耕野地区」「丸森地区」「小斎地区」「筆甫地区」「大内地区」について、出荷制限指示が解除され、令和4年3月に、残りの「金山地区」「館矢間地区」「大張地区」においても、非破壊検査



放射線物質検査済のラベルを貼付したタケノコ

検査機による全量検査を条件として制限が解除されました。引き続き、安全・安心なたけのこの出荷管理について、生産者と関係機関が連携しながら取り組みを進めてまいります。

【地方振興事務所 林業振興部】



出荷式のテープカットの様子

観光・イベントに関するお知らせ



みやぎ仙南の郷土料理である「おくずかけ」のレシピや仙南地域でおくずかけを提供している店舗を紹介いたします。



みやぎ蔵王山麓に所在する白石市小原温泉・鎌先温泉・白石湯沢温泉、蔵王町遠刈田温泉及び川崎町青根温泉・義々温泉の各温泉地が連携し、「みやぎ蔵王温泉郷」として一体的な情報発信や誘客の取組を行っています。



「みやぎ蔵王三十六景」とは、みやぎ蔵王を背景としたすばらしいスポットです。仙南地域の新しい観光資源として、地域振興を進めていくために、仙南2市7町の各地から選定しました。



仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」やカフェ 60 店舗を御紹介しています。猫の神様「せんじゃん」と一緒に、スイーツ巡りをしてみてはいかがでしょうか。

せんなんスイーツPR
キャラクター
せんじゃん



ツイッター



インスタグラム

大河原地方振興事務所公式ツイッター・インスタグラム「いいっちゃね、みやぎ仙南！#んだから〜」では、宮城県南地域のいいとこ情報を積極的に発信しています。

子育て・
教育

めざせ！蔵王マイスター

1日目の6月11日（土）は、蔵王古道の会の方から講義がありました。数万年前の噴火によって蔵王の山々が成り立ったことや信仰の山として長い年月にわたり人々が祈り続けてきたこと等を学びました。

2日目の6月12日（日）は、あいにくの雨。青麻山に登る予定だった登山コースを刈田岳から大黒天までのコースに変更しました。昨日の講義内容を確かめるような登山コース



刈田岳・大黒天コースの山道にて

に参加者は興味津々。さらに6月ならではの植物も至る所で花を咲かせ、参加者は記念写真を撮影していました。蔵王について学び、自分の足で確かめる「蔵王マイスター」。参加者は火山がもたらした大地の営みを感じながら、蔵王の歴史と美しさを堪能することができました。

【蔵王自然の家】



講師による説明を聞きながら

満喫！蔵王の春

満喫シリーズ第1弾の春ですが、1日目の新緑の御釜へのトレッキングは、強風により中止となり野鳥の森の散策となりました。午後からの竹灯籠づくりでは、親子で力を合わせ、夢中になって思い思いの作品を作る姿が見られました。夜は、利府高等学校吹奏楽部による素敵な演奏を聴きながらの夕食。



2日目のニジマスつかみ



1日目の広場遊び

竹灯籠のライトアップと、ゆったりとした時間を過ごしました。2日目は、本所の定番プログラム「ニジマスつかみ」で、参加者たちはおいしく命をいただくことの大切さを学びました。併せて広場で学生アシスタント企画の遊びや、いろいろな遊び道具で、思い思いの時間を過ごしました。参加者にとって、事業名に恥じない満喫した2日間となりました。

【蔵王自然の家】



ライトアップ！竹灯籠

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会

への出品を目指して

肉牛の部
巡回調査

全国の和牛関係者が、今、最も注目しているのが、来る10月に開催される「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」です。平成29年に本県で開催された前回大会は、仙南地域から、県代表として総合評価群（母牛の能力と体型を競う「種牛の部」と肉質を競う「肉牛の部」の団体戦）に牛を出品し、種牛の部全国第4位の輝かしい成績を収めました。美しい体型も、肉質の良さも、一朝一夕には得られません。このため、仙南地域は、集合指導会で出品候補牛の発育管理や調教技術を学んだり、巡回調査で血液検査や筋肉内の超音波診断を行い、飼養管理に活かしています。

秋に、良い結果をご報告できるよう関係者一丸となり邁進していきますので、ご期待ください。

【地方振興事務所畜産振興部】



種牛の部 集合指導会

次号は11月中旬の発行予定です

【編集後記】

今号では、ナゾ解きスタンプラリー「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」についてご紹介しました。「ナゾ」を解きながら、仙南地域を回り、夏の仙南の魅力を思う存分味わってみてはいかがでしょうか。



読者の皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。下記までお気軽にお寄せください。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部
〒989-1243 柴田郡大河原町字南 129-1

TEL：0224-53-3182（直通）

FAX：0224-53-3076

E-mail：oksinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/>

